

2023年3月31日
企業会計基準委員会
サステナビリティ基準委員会
エフラグ

企業会計基準委員会及びサステナビリティ基準委員会の代表者と エフラグの代表者がブリュッセルで会合を開催

企業会計基準委員会（ASBJ）及びサステナビリティ基準委員会（SSBJ）の代表者と、エフラグ—企業報告における欧州の声（EFRAG）の代表者は、2023年3月30日及び31日にベルギーのブリュッセルで会合を開催しました。

財務報告（会計）に関して、会合の参加者は、それぞれの活動の最新情報を提供するとともに、基本財務諸表、暗号資産、国際的な税制改革 — 第2の柱モデルルール並びに企業結合 — 開示、のれん及び減損などの相互に関心がある項目について意見交換を行いました。

サステナビリティ報告に関して、会合の参加者は、お互いの組織体制、作業計画及び優先事項などを紹介し、気候変動及びサステナビリティ報告に関連する他のテーマについても意見交換を行いました。

ASBJ 及び SSBJ と EFRAG は、定期的な意見交換を続けていく予定です。

川西安喜 ASBJ 委員長兼 SSBJ 委員長は次のように述べています。
「ASBJ 及び SSBJ より、ブリュッセルにおいてこの対面による会合を主催いただいた EFRAG に感謝の意を表したいと思います。今回の会合は、数年ぶりに開催された会計基準に関連する対面による会合となると同時に、EFRAG の新しい組織体制の下で最初に開催されたサステナビリティ基準に関連する会合となりました。ASBJ 及び SSBJ は、今後も EFRAG との建設的な対話を継続していくことを期待しています。」

パトリック・ド・カンブール EFRAG サステナビリティ報告審議会（SRB）議長は次のように述べています。

「SSBJ と SRB の二者間の対話は、サステナビリティ報告の要求事項の開発の最前線にいるそれぞれの組織にとって、相互に見識を得ることができる素晴らしい機会です。EFRAG は、企業サステナビリティ報告指令（CSRD）の規定に従い、グローバルなサステナビリティ報告の機運を活用し、これに貢献するためにあらゆる努力を行っています。」

国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の法域別ワーキング・グループ（JWG）のメンバーとして、SSBJ と SRB の両者は、サステナビリティ関連開示の要求事項の国際的な相互運用可能性の促進に取り組んでいます。今回の会合は、これまでの協力関係を基礎とし、サステナビリティ報告基準の開発から生じる機会及び課題を理解するにあたってのさらなるステップとなるものです。」

ウルフ・クリンツ EFRAG 財務報告審議会（FRB）議長は次のように述べています。

「各国の会計基準設定主体との取組みは、IFRS 基準の開発に影響を与えるという EFRAG における財務報告の柱に関する活動の成功に欠かせないものです。このため、EFRAG は、ASBJ との二者間の対話や、両組織が定期的に会合を持つというこれまでの素晴らしい慣習が再開されたことを歓迎しています。

パンデミックにより、過去数年間、このような意見交換を行うことができませんでした。が、会計基準アドバイザー・フォーラム（ASAF）のメンバーとして、また、会計基準設定主体国際フォーラム（IFASS）の議長を引き継ぐことを通じて、長年にわたり多くの面で我々の協力関係を継続してきました。我々は、今回の会合を、IASB の作業計画、ASBJ の基準設定活動及びそれぞれの先を見越した研究アジェンダに関連する、相互に関心があるテーマに関して意見交換を行う機会として歓迎しています。」

企業会計基準委員会（ASBJ）について

企業会計基準委員会（ASBJ）は、2001年7月に公益財団法人財務会計基準機構（FASF）の下に設立されたプライベート・セクターの機関です。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により日本において一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなります。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発しています。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献しています。ASBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト (<https://www.asb.or.jp/jp/>) をご参照ください。

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）について

サステナビリティ基準委員会（SSBJ）は、2022年7月にFASFの下に設立されたプライベート・セクターの機関です。サステナビリティ開示基準の法的枠組みは金融庁が決定することとなっており、SSBJはその枠組みが設定された後に、その枠組みに沿って国内基準を開発することとなります。SSBJは、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の法域別ワーキング・グループ（JWG）のメンバーであり、サステナビリティ基準アドバイザリー・フォーラム（SSAF）の初期メンバーの1つに選任されています。SSBJに関する詳細な情報は、ウェブサイト (<https://www.asb.or.jp/jp/>) をご参照ください。

エフラグ（EFRAG）について (<https://www.efrag.org/>)

EFRAGの使命は、企業報告の分野における欧州の見解の開発及び促進、並びにEUサステナビリティ報告基準案の開発を通じて、財務報告及びサステナビリティ報告の双方において欧州の公共の利益に奉仕することです。

財務報告の活動において、EFRAGは、国際会計基準審議会（IASB）の基準設定プロセス及び関連する国際的な議論において、欧州の見解が適切に考慮されることを確保しています。EFRAGは、新規に公表された又は改訂されたIFRS基準が、国際会計基準規則の規準を満たし、欧州連合（EU）において用いるためにエンドースメントを行うかどうか、また、エンドースメントが欧州の公益に資するかどうか等、最終的に欧州委員会に対する助言を提供しています。

サステナビリティ報告の活動において、EFRAGは、結論の根拠及び影響分析などのコスト・ベネフィット分析を伴うEUサステナビリティ報告基準案という形で欧州委員会に技術的な助言を提供しています。EFRAGは、基準設定プロセスを通じて、すべての利害関係者から意見を求め、欧州固有の状況についての証拠を入手しています。その正当性は、透明性、ガバナンス、（フィールド・テスト、影響分析、アウトリーチを含む場

合がある) デュー・プロセス、公的説明責任及びソート・リーダーシップを基礎として
います。これにより、EFRAG は、説得力のある明確で一貫した意見を述べることができ、
企業報告における欧州の声として認識されることが可能となります。EFRAG は、急速に
進展する環境において活動しています。EFRAG は、企業報告における新たな機会や課題
に対応するために、その活動を適応させる必要性に留意しています。